

吉田つとむのインターンシップ要綱



町田市議会議員(志政クラブ所属) 吉田つとむ 自宅連絡先

〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイト E103-13

TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

E-Mail yoshidaben@gmail.com

町田市議会 〒194-8520 町田市中町1-20-23

TEL 042-724-2171 FAX 042-724-1196

町田市役所 電話 042-722-3331 (代表)

目次

	ページ
1. はじめに	
インターン生(研修生)受け入れ(一年生から参加可能)	2
2. 吉田つとむとは	
2.1 1分でわかる、吉田つとむ	2
2.2 もっと詳しく知りたい人には	3
2.3 政治姿勢・優先政策	3
3. インターンシップについて	
3.1 募集要項と申し込み方法	4
3.2 吉田つとむのインターン観	5
3.3 基本的なルールについて	
4. インターン生について	
4.1 インターン生ができること	5
4.2 吉田つとむがインターン生に望むこと	6
4.3 基本的なルールについて	6-7
4.4 インターン生のその出身大学, 進路	7
4.5 実際のインターン経験者からのアドバイス	7-8
5. プライバシーの保護について	8



はじめに

吉田つとむの<インターン生（研修生）受け入れ>について

町田市議会議員 吉田つとむは、平成 10 年（1998 年）から多数の学生を研修生として受け入れるインターンシップを実施してきました。平成 23 年（2011 年）夏までに合計 43 人（男子 22 人、女子 21 人）を受け入れています。社会に出る前に、政治を通じて実社会の体験を行い、その就業を含む人生経験に生かしていただきたいと願っての取り組みです。また、学生がそれらの経験を他にも生かす目的でレポートを作成し、ネット上で公開することにしています。もとより、最上の報告が発表されているという考えでなく、学生時代の研修として、将来に生かされる目的で作成するものです。1 年生から参加可能です。



↑ 日経新聞本社訪問（電子版編集長と懇談）



↑ 松下政経塾の先輩を訪問した研修生

吉田つとむって誰だ？

<http://j-expert.jp/>

（公式HP）

<1分でわかる、吉田つとむ>

氏名 吉田つとむ（議会でも「つとむ」を通称にしています。本名は勉です）

（フリガナ）（ヨシダ ツトム）

所属議会 町田市議会（当選 5 期目でトップ当選）

所属政党 無所属（以前は自由民主党でしたが、平成 21 年よりどの政党にも所属せず、無所属になりました）

所属党派 志政クラブ（いわゆる保守系の会派）

役職 副議長（2010 年 3 月より）

年齢（2011 年 9 月 2 日時点） 63 歳

ブログ <http://blog.livedoor.jp/expert1/> 動画 <http://www.youtube.com/yoshidaben>



28 期生の小宮春菜さんが紹介する

町田市議会議員<吉田つとむ>は、ユーチューブの「発見動画チャンネル」を始め、マルチメディア（公式 HP、ブログ、BBS、フェイスブック、Twitter）のネットを構成しています。動画は自分が撮るか、撮られたもので構成＝オリジナル作品で構成しています。

<吉田つとむを、もっと詳しく知りたい人には>

昭和 23 年【1948 年】福岡県に生まれ、博多で育つ。団塊世代。愛称は、以前は『情報公開のエキスパート』、今日では『発見動画チャンネル』としている。

過去に、国政選挙に 3 度出馬するが惨敗。しかし、何としても政治家になって、世の中を良くしたいという熱い思いから、町田市議会選挙に出馬するが、またもや落選。しかし、それでもあきらめず、町田市議会選挙(平成 6 年)に苦難の末に初当選。

失敗からの教訓を武器に、3 期目で上位当選を果たし、前半に議会運営委員長、後半は会派の幹事長を務めた。東京都内の地方議員自主研究グループである「東京ねっとわーく」代表も務めた。

ホームページ <http://j-expert.jp/> やブログを用いた双方向の政治活動が特徴。平成 15 年、政治家HP コンテンツ本が商業出版され、その縁で、広島商工会議所などで中小企業分野の経済講演も行ったことがある。

市議当選 4 期後、都議補選・都議選に連続して出馬するも落選。だが、平成 22 年町田市議選をトップ当選(7,679 票)で復帰する。地方政治に良識ある開かれた無所属保守のネットワークを求める。以前に、自民党を離党し、現在までどの既成政党にも属さない。市議会内会派の「志政クラブ」に所属する。ユーチューブ「発見動画チャンネル」を運営。最初に、市議会ネット中継を提唱し実現。経歴では、長年、民間企業営業職社員として全国を飛び回る。その後、国会・都議会秘書等、多数の職業を経験。

政策と関心事:

「健康と文化の町田」をめざし、交通文化の充実や医療費負担の減少を主張しています。特に、JR 東海が計画するリニア中央新幹線の開通による、隣接した相模原市と一体になった町田市の発展を見越した施策を提唱しています。

趣味は、ボウリング(過去には、ヨット)、タウンウォッチング。愛読書&執筆本等:

愛読書は「歴史主義の貧困」(カール・ポパー)、著作等は、「地方議員のための支持者をふやすホームページの鉄則」(自著・学陽書房)、「ユニバーサルファッション宣言 Part II」(共著・中央公論新社)があります。



*日々インターネットを駆使しています。

所属する市議会の会派「志政クラブ」のメンバー

<政治姿勢・優先政策（活動する上での基本的な姿勢や、力を入れている政策など）>

「住民に見える、分かる」政治の実現へ。日本一の情報公開で開かれた市政への取り組み。

- 本議会のインターネット TV 中継実現を積極的に働きかける。(2,003 年 12 月導入済)
 - 政治家も自己開示の必要性を訴える。政治家HPの点数評価するサイト「開け電網政治の時代」にて第1位の評価を長年獲得した。*現在では、そのサイトは停止。
- ※ 『地方議員のための支持者をふやすホームページの鉄則』(学陽書房)2003 年 7 月刊行。
以降、「産業とビジネスが発展する街」を目指す政策に重点を置く。

インターンシップについて

<募集の要領と申込み方法>

1. 研修期間：休暇期間に行う場合や、通常の学業期間の中に空いた期間に行う場合、両方とも可能です。長期、短期は問いません。
2. 研修所要時間：終日の場合もあれば、半日程度の日もあり。
3. 研修日数：週に一日以上が希望。多い分も可能で、柔軟に対応します。
4. 受け入れ人数：複数の学生を同時に受け入れる場合があります。同時に2人前後まで。

☆ 受け入れ人数が同時に2人前後、ということで、吉田つとむと非常に近距離な、密着したインターン活動をすることができます。

5. 参加費：無料。原則、交通費と食費が支給します
(同じ店で食べ、同じ行動をとるのが原則)。
☆1時間圏内を希望。ただし、今までも、山手線
や中央線沿線学生も受け入れてきました。

吉田議員とインターン生の食事風景→



6. 特別な知識：政治的な知識等は、必要ありません。また、政治家志望である必要もありません。Word が使用でき、Net を見る程度のPCの知識がある方で十分です。
 7. 活動拠点：町田市議会（町田市役所と同じ建物＝最寄り駅はJR／小田急町田駅）
 8. 参加方法：・直接吉田つとむに直接コンタクトをとる(yoshidaben@gmail.com)
・友人・知人：あるいはインターンの先輩からの紹介
・大学の紹介を受ける（単位取得を前提とする場合）
 9. 参加資格：大学生・院生であれば、一年生（未成年）でも参加できます。
- * 大学の単位取得を目的のインターンシップでは、10 回以上の研修を実施した上で、私から大学宛に評価書を提出した例があります（2 大学で実施）。
- * 吉田つとむインターンシップ アドレス
<http://j-expert.jp/tosei/int/main.html>
- * エントリーシート 上記のアドレスから用紙が取り出せます。●エクセル版 ●PDF 版

<吉田つとむのインターン生ができること、すること>

体験内容	体験種類	有無	体験項目（詳細）
参加	会う	○	会合、勉強会、大会行事、イベントの参加
訪問	話す	○	個人、企業、団体、公共施設、国会の訪問と面談
主催	運営	○	セミナー、交流会の運営進行
会議傍聴	聴く	○	本会議、委員会などの会議傍聴
調査・視察	観る・書く	○	資料の分析、現地調査
政策立案	書く	○	議会の質問事項の原稿草稿の作成
公報物作成	書く・撮影	○	議会レポートの記事を作成、HP・動画を作成
事務	書く、応接	△	事務所を持っていないので、会派室などで一部体験
街頭活動	演説・配布	△	原則なし、政治家志向の場合は必須
政党関係	活動参加	×	無所属ですので、友好議員との交流の範囲



普段絶対出会わないような人と・・・



名刺交換ができる



TV局政治部記者！と面談企画

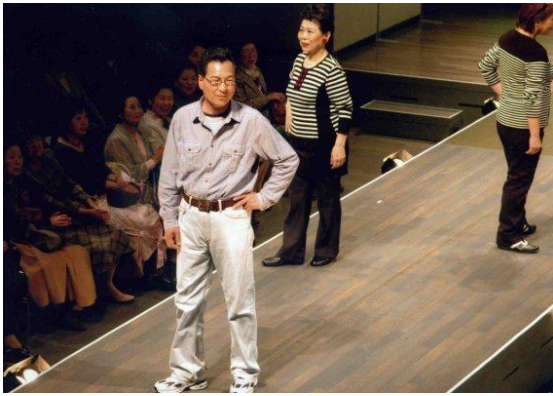


吉田つとむ主催セミナー

<吉田つとむのインターン観>

私は、自分の政治活動に対して、学生を無料アルバイト的には一切扱わないのが特徴です。あくまで、インターンは議員と同一行動を取る体験的な社会勉強と考えています。

地方議員の中で、最も長いインターン受け入れ経験を持ち、インターン経験者の職場訪問や懇談も実施しています。詳しくは、HP内の「インターン体験記」をご参照ください。



ファッションショーに出演する吉田つとむ



一人で福島第一原発の20キロ圏に出向く

<吉田つとむがインターン生に望むこと>

専攻科目は特に特定せず、地域や企業、政治の基本的な分野への関心がある人。人と幅広く接したいという希望を持った人がこのインターンに参加してくれたら、と思います。なお、議会の質問に関する資料収集・質問文作成だけでなく、その説明資料としての経過レポート、パワーポイント作品、ネット記事などの作成を関連づけた勉強を行います。(毎回実施)それに積極的に取り組んでもらうことを望みます。その他、地域行事参画や広報活動など、議員本人と一緒に行動が原則であり、同時に研修生の些細な質問にも答えるのが原則です。

<基本的なルールについて>

研修生にとってもっとも大事なことは約束の日時を守ることです。できなかった場合、連絡やリカバリー方法を提起することが重要です。

また、研修生にとって重要なことは、事態や情報を冷静に受け止めることです。疑問点があれば、いつでも吉田つとむ自身に質問してください。

研修生が吉田と一緒にいる場合の活動で秘密のことはほとんどありません。しかし、個人の話を書く場合は、相手の意思によってプライバシーの保護は重要です。あらかじめ、吉田本人がその旨を説明します。

インターン活動中のトラブルは吉田本人が対応しますが、その事態が発生した場合には、吉田本人に対して直接、報告や連絡を直ちに行ってください。



団体の会合で吉田が挨拶をする



地域の企業を訪問する

<吉田つとむの議員インターンシップに参加した、今までの体験者とその後の進路>

*出身大学名一覧（五十音順）

青山学院大、桜美林大、大原専門、神奈川大、**慶応大**、国際基督教大学（ICU）、駒沢大、上智大、成蹊大、創価大、**中大**、東大、東京外語大、東京経済大、東京女学館大、東京都市大学（旧蔵工大）、東洋英和女学院大、日本女子大、一橋大、明大、早大、

***太字**の大学は3名以上受け入れ実績があります。これまでに合計男子22名、女子21名が参加しています。その他、友人の議員のインターン生を一時的に受け入れることも、あは吉田つとむを通じて企業経営者のインターンを行う学生もありました。

*インターン生の進路について

進路については、金融関係が最も多く、銀行、生保、損保業界に就職しています。次いで、公務員が多くなっています。また、ベンチャー企業の経営者や、海外に出ている学生も複数あります。もちろん、私が進路を把握していない学生が大半です。

<インターン生からのアドバイス>

～第28期インターン生から一言～

このリーフレットを見ている方、こんにちは。

今、これを読んでくれている、ということは、ここまで読み進めてきた、ということでしょうか。そうだとすれば、きっとあなたは、このインターンシップに何か興味をそそられるものがあったのだと、推測します。

では、悩む前に、まずやってみてはいかがでしょう。

このインターンシップは、難しいことは何もありません。レポートを書くこと。それが毎回インターン生に課される課題ですが、その内容は自分次第。何を書こうか書かないか、まったく問題とならないのです。他に、ちょくちょく与えられるタスクはありますが、自分のペースでやればいい。自分のさじ加減でやればいい。「インターンをするのなら、このレベルまでは、到達しなさい」といった、暗に潜む、脅迫概念など何にも感じません。つまり、「○○しなきゃ！」といったあせりが多いわけでもない、穏やかな雰囲気の中、インターンシップが行われるのです。

「インターンシップ」特有の、硬いイメージを持って敬遠しがちでした方。まずは、えいっと吉田議員にメールをして、まずは会って、実際話を聞いてみる。そのことを、オススメします。そんなきっかけで、案外簡単に、人生が変わるかもしれません。

と、ここまでいかにこのインターンがあまっちゃうのか、ということを書いてきたように聞こえるかもしれませんが、そんな甘い方が、実は「難しい」ということを、私は実感しています。とゆうのも、「自由と責任」という言葉がありますが、「自由」にやらせてもらえる代わりに、自ら能動的に学ぶ「責任」が自分に発生すると思うのです。というのも、レポートだけの課題に、あとは吉田議員から、人と会うなどといった「機会」が与えられるだけ。そこから何を自分が吸収し、何を切り捨てて行くのかは、全て自分次第。経験の後のタスクが少ない分、学ぶ姿勢が無かったら、「いろんな経験したなあ」で終わってしまうのです。吉田議員にぴったりくっついて行動できる面からいえば、まさに「マンツーマン形式」の受動的でインターン活動をやっている環境ですが、実際は、相当自分からぐいぐい学ぶ姿勢を持っていないと、時間を無駄にした、で終わってしまう。こんな側面も、結構あるように思えるのです。

ちなみに、インターンを成功させる方法として、ETICという団体のセミナーに参加した際（面白

いので興味のある方は検索して、セミナーに参加してみてくださいね。)、学んだことを軽く紹介してみます。わかりにくければ、ご自分でお調べください。

- ・ 120%の力で、常に課題に取り組む（相手の想像の上をいく成果を常に挙げるようにする）
- ・ 相手の思考への共感性を持って行動する
- ・ 思考・行動特性（ある時に、特定の行動、思考をする）を理想のものに変えて、インターンを行ってゆくように意識をする

このインターンには、特に自身の「責任」の重さが強いことも念頭にいれながらも、ぜひ積極的に応募してみてください。厳しいことを書きましたが、単純に「楽しい」インターンシップになること請け合いなので、ぜひリラックスもして、純粋に楽しんでみてくださいね！！

ご一読、ありがとうございました。

記：第28期研修生 小宮 春菜 国際基督教大学（ICU）教養学部3年生



初日のオリエンテーション



訪問先で手土産を渡す



子ども議会を見学しました



国会議員を訪ねました



日焼け防止スタイルで高校野球観戦



資料を作成するために



次の訪問先を訪ねる前に昼食



全国紙の町田支局を訪問



主催セミナーの受付を担当

<プライバシーの保護について>

問い合わせした学生や申込者に対し、個人情報の秘密は厳格に守ります。インターンシップを行う学生に関しては、本人の氏名と学年のみを公開しています。本人の住所・電話・メールアドレスなどは非公開です。その他の情報では本人の希望に応じて、公開掲載することになっています。現在では、通常、大学・学部名も公開をするように変更しています。